

特集展示 雛まつりと人形

2026年2月7日(土)～3月15日(日)
京都国立博物館 平成知新館(1F-2展示室)

雛まつりは「上巳(じょうし)の節供」ともいい、もともとは古代中国に起源を持つ禊(みそぎ)の行事でした。日本に取り入れられると、貴族たちは川辺で祓(はらえ)を行い、曲水の宴を催すようになりました。そこで用いられた人形(ひとがた)は、日常生活の中で人間についた穢(けが)れを引き受け、水に流すなどして捨てられ、現代でも「流し雛」として目にすることができます。この習俗がやがて、子どもが遊びに用いる人形と結びつき、江戸時代には座敷に飾りつける雛人形や雛段へ発展したと考えられています。

内裏雛とも呼ばれるように、雛人形のモデルとされたのは、天皇と皇后の姿です。本年の「雛まつりと人形」では、**雛人形を通して表現された天皇と皇后の姿の移り変わりに注目します**。江戸時代の人々が漠然と抱いていた天皇のイメージが托されたものから、写真などを参考にその姿を正確に写そうとした明治時代以降の作品まで、いつの世も憧れのまなざしをもって大切に守り伝えられてきた雛人形の諸相をお楽しみください。



段飾り雛 京都国立博物館蔵



立雛 次郎左衛門頭
京都国立博物館蔵

【開館時間】 午前9時30分～午後5時 *金曜は午後8時まで開館 *入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】 一般700円 大学生350円

*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。

*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

*キャンパスメンバーズ(含教職員)は、学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

【休館日】 月曜日 *ただし、2月23日(月・祝)は開館し、2月24日(火)休館

【一般問い合わせ】 TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

— 報道に関するお問い合わせ —

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527
press_kyohaku@nich.go.jp